

株主ならびに投資家の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。第18期第2四半期累計期間（平成21年4月1日～平成21年9月30日）の中間報告書をお届けするにあたり一言ごあいさつ申し上げます。

当第2四半期におけるわが国の経済は、輸出や生産など一部に持ち直しの動きが見られますが、企業収益及び設備投資の減少は継続し、依然として景気は厳しい状況にありました。先行きについては、雇用情勢が悪化するなか、経済対策の効果に期待がかけられるものの、なお世界的な金融危機の影響や世界景気の下振れの懸念があり、景気が悪化するリスクが存在します。

当社の主要な販売品目である国内サーバ市場においては、上記の景気動向と企業の設備投資の減少の影響を受け、出荷金額及び出荷台数が大幅なマイナス成長となりました。

このような環境において、当社は、自社製品に注力する方針のもと営業活動を行いました。法人顧客におけるIT投資の抑制の影響により引き合いが大幅に減少し、当第2四半期累計期間の売上高は506百万円（前年同期比543百万円・51.7%減少）と前年同期に比べ大幅に減少しました。販売費及び一般管理費は、研究開発費などの増加要因があるものの、全般的に抑制努力を継続し前年同期に比べ減少しました。また、売上が減少するなか長期的な観点から固定費を削減すべく、東京ロジスティクスセンターを閉鎖し、物流機能と生産機能を社外への業務委託及び本社内に機能移管することを決定したことにより、物流センター閉鎖損失引当金繰入額68百万円を特別損失に計上しました。この結果、営業損失は299百万円（前年同期は営業損失139百万円）、経常損失は314百万円（前年同期は経常損失137百万円）、四半期純損失は399百万円（前年同期は四半期純損失142百万円）となりました。

今後も当社は、継続して自社製品の販売を推進するとともに、オープンソース系の技術力を基盤としたシステム製品の提供や、サービス体制と連携した法人営業の強化、技術サービスの充実を重点的に行ってまいります。

株主ならびに投資家の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成21年12月吉日 ぷらっとホーム株式会社

代表取締役社長 鈴木友康

★ TECHNOLOGY to serve you.

第18期中間報告書

平成21年4月1日から平成21年9月30日まで

Plat' Home

ぷらっとホーム株式会社

株主メモ

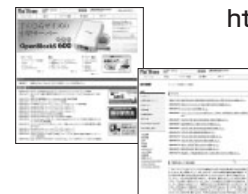
事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
同 基 準 日 3月31日
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 0120-232-711（通話料無料）
公 告 方 法 電子公告 <http://www.plathome.co.jp/>
 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

（ご注意）

1. 株主様の住所変更その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

Web Information

<http://www.plathome.co.jp/>



当社のホームページでは、企業情報や財務情報を積極的に開示しております。ぜひアクセスしてください。



ぷらっとホーム株式会社

〒101-0021 東京都千代田区外神田1-18-13

秋葉原ダイビル9F

TEL: 03-3251-6111 FAX: 03-3255-9506

会社概要

（平成21年9月30日現在）

商 号 ぷらっとホーム株式会社
事 業 所 本 社 東京都千代田区外神田1-18-13
 秋葉原ダイビル9F
 TEL: 03-3251-6111 FAX: 03-3255-9506
 URL: <http://www.plathome.co.jp/>
 東京ロジスティクスセンター
 東京都大田区平和島6-1-1
 東京流通センター B棟 6F
設 立 平成5年3月23日
資 本 金 24億1,470万円
従 業 員 数 58名
事 業 内 容 コンピュータ及び周辺機器の開発・製造・販売及びサービス等

役員

（平成21年9月30日現在）

代表取締役社長 鈴木 友康 **常勤監査役** 栗原 彰
取締役 居村 勝衛 **監査役** 松山 昌司
取締役 河南 邦男 **監査役** 犬塚 謙藏
取締役 因 久明

株式の状況

（平成21年9月30日現在）

- 発行可能株式総数 36,000株
- 発行済株式の総数 13,588株
- 株主数 880名
- 大株主

株主名	持株数	出資比率
鈴木 友康	2,990株	23.6%
本多 貴美子	960株	7.6%
笛吹 美貴	714株	5.6%
本多 基記	654株	5.2%
村口 和孝	643株	5.1%
穂田 誉輝	606株	4.8%
KDDI (株)	500株	3.9%
財務大臣	472株	3.7%
飯田 佳宏	410株	3.2%
山口 修一	125株	1.0%

（注）1. 当社は、自己株式906株を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。
 2. 出資比率は自己株式906株を控除して計算しております。



Topics

OpenBlockS 600 の出荷を開始

最新の機能と性能を備えた手のひらサイズのサーバ「OpenBlockS 600」（オープンブックス600）の出荷を9月から開始しました。

OpenBlockS 600は、2000年に初代モデルを発売以来、企業用途におけるマイクロサーバとしてデファクトスタンダードの位置にある製品シリーズの、最新モデルです。

シリーズ8代目となる本製品は、小型で低消費電力という特長を引継ぎつつ大きくスペックアップし、より高い処理性能、そして便利な運用機能を実現しました。DHCPやDNSなど、高い負荷が生じないにもかかわらずIAサーバにインストールされているサービスを、OpenBlockS 600にリブレイスすれば、サービスの質を損なうことなく、大幅なCO₂排出量の削減が実現できます。

また、標準搭載する「アプリケーションマネージャ」を用いれば、簡単に各種アプリケーションをインストール・初期設定することができ、スピーディにアプライアンスサーバの構築が可能のため、活用の幅が更に広がります。

メディアやユーザからOpenBlockS 600への注目度は非常に高く、今後、多くの企業・官公庁・研究機関での導入が期待されます。



※当社製 低消費電力型1Uサーバ (TRQC-1/32SA) との比較

NTTデータと開発協力 データセンター向け運用管理ソフトウェアを実装

OpenBlockS 600には、データセンターなどで活用される株式会社エヌ・ティ・ティ・データ（以下、NTTデータ）のオープンソースソフトウェア Hinemos[®]（ヒネモス）の本製品専用版「Hinemos[®] Light」が用意されております。

Hinemos[®]は、エンタープライズレベルのシステム管理機能を備えた統合運用管理ソフトウェアです。ぶらっとホームはNTTデータと本年4月にソリューションパートナー契約を締結し、NTTデータの全面的な技術サポートのもとで「Hinemos[®]標準搭載ハードウェア」の開発を行ってまいりました。

Hinemos[®] Light搭載のOpenBlockS 600は、Hinemos[®]本来の機能はそのままに、より軽快な動作を誇り、あらゆる規模のITシステムに高い運用管理性を提供します。

財務諸表

● 四半期貸借対照表 (要旨)

(単位：千円)

	当第2四半期末 (平成21年9月30日)	前期末 (平成21年3月31日)
(資産の部)		
流動資産	3,030,101	3,461,946
現金及び預金	2,514,954	2,925,303
売掛金	139,199	347,070
たな卸資産	263,944	115,583
その他	112,211	74,517
貸倒引当金	△ 208	△ 528
固定資産	314,527	333,695
投資その他の資産	314,527	333,695
資産合計	3,344,629	3,795,641
(負債の部)		
流動負債	351,812	404,081
買掛金	150,536	232,773
賞与引当金	21,638	22,187
その他	179,638	149,120
固定負債	15,456	14,539
退職給付引当金	15,456	14,539
負債合計	367,269	418,620
(純資産の部)		
株主資本	2,987,044	3,386,396
資本金	2,414,700	2,414,700
資本剰余金	5,566,781	5,566,781
利益剰余金	△ 4,836,106	△ 4,436,755
自己株式	△ 158,329	△ 158,329
評価・換算差額等	△ 9,684	△ 9,374
純資産合計	2,977,360	3,377,021
負債純資産合計	3,344,629	3,795,641

※ 財務諸表の数値は、千円未満切捨て表示しております。

● 四半期損益計算書 (要旨)

(単位：千円)

	当第2四半期 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	前第2四半期 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	506,822	1,050,015
売上原価	364,917	740,344
売上総利益	141,904	309,670
販売費及び一般管理費	441,503	449,209
営業損失	299,598	139,538
営業外収益	4,187	6,490
営業外費用	18,691	4,719
経常損失	314,102	137,768
特別利益	2,299	55,073
特別損失	85,442	57,379
税引前四半期純損失	397,246	140,074
法人税等	2,105	2,105
四半期純損失	399,351	142,179

● 四半期キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：千円)

	当第2四半期 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	前第2四半期 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 399,928	△ 86,393
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 10,164	2,190
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△ 255	31
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	△ 410,348	△ 84,170
現金及び現金同等物の 期首残高	1,425,303	2,192,254
現金及び現金同等物の 四半期末残高	1,014,954	2,108,083